

工事番号																
								課長			係長		検算		担当	
令和 7 年度 道路維持 市道穂高3156号線 現道舗装工事 閲覧設計書																
市道穂高3156号線 安曇野市穂高北穂高																
設 計 大 要								施 工 方 法				請 負				
舗装工 L=151.5m、w=2.50～3.90m 表層工 再生密粒度As13F t= 4cm A=444.5m2 上層路盤工 粒度調整碎石M-25 t=10cm A=444.5m2								施 工 期 間				日間				
								起工予定年月日				令和 年 月 日				
								竣工予定年月日				令和 8 年 3 月 27 日				
								契約保証方法				補正なし				
								・この資料は、入札参加資格者の迅速な見積に資するとともに、発注者が用いた積算資料を参考として提示するものであり、請負契約において何ら拘束力を生じるものではない。 ・諸経費等の条件については、原則変更協議の対象としない。								

総括情報表

事務所名 変更回数 適用単価区分 単価適用地区 実施設計単価表等の適用日	61 安曇野市 0 1 実施単価 50 1 1 中信（ 2 ） 08.01.01			
	当 世 代	前 世 代		
前払率（ ％ ） 消費税率（ ％ ） 工種 施工地域区分(共通仮設) 施工地域区分(現場管理) 現場環境改善費率計上分 契約保証方法 緊急工事区分 時間的制約 豪雪割増 週休 2 日補正 冬期補正（ 現管 ）	40 10 % 06 舗装 03 一般交通影響有り(2) -1 03 一般交通影響有り(2) -1 03 計上なし 03 補正なし 00 補正なし 00 時間的制約無し 02 豪雪割増無し 09 週単位（ 土日 ） 1004			

( 工事費内訳書 )

\*\*\* 本工事費 \*\*\*

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 本工事費 ***						
舗装						
			式			
道路土工						
			式			
掘削工						
			式			
掘削						
	62	m 3				工種 第0001号表
土砂等運搬						
	75	m 3				工種 第0002号表
残土処理工						
			式			
残土等処分						
	75	m 3				工種 第0003号表
舗装工						
			式			

( 工事費内訳書 )

\*\*\* 本工事費 \*\*\*

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装準備工					
		式			
不陸整正					
	445	m 2			工種 第0004号表
排水性舗装工					
		式			
上層路盤（車道・路肩部）					
	445	m 2			工種 第0005号表
舗装・表層（車道・路肩部）					
	445	m 2			工種 第0006号表
** 直接工事費 **					
** 共通仮設費率計算額 **					
補正無の率 0.1709					
		補正後の率 0.2441			
** 共通仮設費計 **					

( 工事費内訳書 )

\*\*\* 本工事費 \*\*\*

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 純工事費 **						
** 現場管理費 ** 補正無の率 0.4083						
			補正後の率	0.5171		
** 工事原価 **						
* 一般管理費等 * 補正無の率 0.2357						
			前払率補正	1.0000		
** 工事価格計 **						
** 消費税等相当額計 ** 率 0.1000						
** 工事費計 **						
( 参考 ) 予定 価格に占める 法定福利費概 算額 率 0.0387						

掘削

## 工種明細表

工種 第0001号表

頁0-0006

[illegible]

土砂等運搬

## 工種明細表

工種 第0002号表

頁0-0007

[illegible]

### 残土等処分

# 工種明細表

工種 第0003号表

頁0-0008

[illegible]



# 不正陸不

# 工種明細表

工種 第0004号表

頁0-0009

[illegible]

## 上層路盤（車道・路肩部）

# 工種明細表

工種 第0005号表

頁0-0010

[illegible]

舗装・表層（車道・路肩部）

## 工種明細表

工種 第0006号表

頁0-0011

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0012

掘削

土砂 小規模(標準)

機械構成比： 26.01%

労務構成比：

小規模(標準)

62.89%

材料構成比：

11.10%

市場単価構成比：

施工 第0 -0001号表

1  
標準単価：

m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2次 山積0.28m <sup>3</sup>	26.01%	供用日		バックホウ(クローラ型) [標準型] 排ガス2次		
運転手(特殊)	62.89%	人		運転手(特殊)		
軽油 小型ロ-リ- パトロール給油	11.10%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 施工数量：小規模(標準)				施工方法：上記以外(小規模) 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0013

土砂等運搬

施工 第0 -0002号表

小規模 DID区間なし 3.5km以下

バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)

1 m3 当り

機械構成比： 26.52% 労務構成比：

61.90%

材料構成比： 11.58%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 4 t 積級	26.52%	供用日		ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]		
運転手 (一般)	61.90%	人		運転手 (一般)		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	11.58%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土砂等発生現場：小規模 土質：土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離：3.5km以下				積込機種・規格：バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3) DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

機械構成比： 0.00% 勞務構成比： 0.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 0.00%

施工 第0 -0003号表

頁0-0014

m 3 当り

機械構成比： 0.00% 勞務構成比： 0.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 0.00%

[illegible]

# 施 工 内 訳 表

頁0-0015

不陸整正  
補足材料なし

施工 第0 -0004号表

1 m 2 当り

機械構成比：21.58%		労務構成比：71.86%		材料構成比：6.56%		市場単価構成比：0.00%		標準単価：	
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 位	単 価		代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単 価(東京地区)	備 考
モータグレーダ[土工用] 排ガス2014 ブレード幅3.1m		17.28%	供用日			モータグレーダ[土工用] 排ガス2014			
ロードローラ[マカダム]賃料 ～超低・～排ガス2次 質量10～12t		2.16%	日			ロードローラ[マカダム]賃料			
タイヤローラ賃料 質量13～14t		2.14%	日			タイヤローラ賃料			
運転手(特殊)		35.31%	人			運転手(特殊)			
普通作業員		14.55%	人			普通作業員			
特殊作業員		11.35%	人			特殊作業員			

施 工 内 訳 表

頁0-0016

不陸整正  
補足材料なし

施工 第0 -0004号表

1

m 2 当り

機械構成比： 21.58% 労務構成比： 71.86% 材料構成比： 6.56% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	10.65%	人		土木一般世話役		
軽油 小型口 - リ - パトロール給油	6.56%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
補足材料の有無：補足材料なし				豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		



# 施 工 内 訳 表

頁0-0017

上層路盤（車道・路肩部）

粒度調整碎石

機械構成比：

11.57%

労務構成比：

全仕上り厚 1 0 0 mm

37.08%

材料構成比：

51.35%

市場単価構成比：

施工 第0 -0005号表

標準単価：

1

m 2

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ[土工用] 排ガス 2 0 1 4 ブレード幅 3 . 1 m	7.99%	供用日		モータグレーダ[土工用] 排ガス 2 0 1 4		
ロードローラ[マカダム]賃料 ～超低・～排ガス 2 次 質量 1 0 ～ 1 2 t	1.00%	日		ロードローラ[マカダム]賃料		
タイヤローラ賃料 質量 1 3 ～ 1 4 t	0.99%	日		タイヤローラ賃料		
運転手（特殊）	16.31%	人		運転手（特殊）		
普通作業員	5.97%	人		普通作業員		
特殊作業員	5.32%	人		特殊作業員		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0018

上層路盤（車道・路肩部）

施工 第0 -0005号表

粒度調整碎石

全仕上り厚 1 0 0 mm

1

m 2 当り

機械構成比： 11.57%

労務構成比：

37.08%

材料構成比：

51.35%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	4.37%	人		土木一般世話役		
粒調碎石 2 5 mm以下	47.84%	m 3		再生粒度調整碎石 R M - 4 0		
軽油 小型口 - リ - パトロール給油	3.03%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
材料：粒度調整碎石 施工区分：1層施工 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				全仕上り厚(mm)：100 材料(粒度調整碎石)：粒度調整碎石 M - 2 5		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0019

表層（車道・路肩部）

施工 第0 -0006号表

3.0m超

平均仕上り厚 4 0 mm

1

m 2 当り

機械構成比： 1.38% 労務構成比： 10.17% 材料構成比： 88.45% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
アスファルトフィニッシャ [ ホイール ] 賃料 ～低騒・～排ガス2014 舗装幅 2 . 3 ～ 6 m	0.88%	日		アスファルトフィニッシャ [ ホイール ] 賃料		
タイヤローラ賃料 質量 1 3 ～ 1 4 t	0.14%	日		タイヤローラ賃料		
ロードローラ [ マカダム ] 賃料 ～超低・～排ガス2次 質量 1 0 ～ 1 2 t	0.13%	日		ロードローラ [ マカダム ] 賃料		
普通作業員	3.66%	人		普通作業員		
運転手（特殊）	2.06%	人		運転手（特殊）		
特殊作業員	2.03%	人		特殊作業員		

# 施 工 内 訳 表

頁0-0020

表層（車道・路肩部）

施工 第0 -0006号表

3.0m超

平均仕上り厚 4 0 mm

1

m 2 当り

機械構成比： 1.38% 労務構成比： 10.17% 材料構成比： 88.45% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	0.73%	人		土木一般世話役		
再生アスファルト混合物 密粒度（ 1 3 F ） [ 再生材 混入率50%以下]	80.70%	t		アスファルト混合物 密粒度（ 2 0 ）		
アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	7.17%	L		アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	0.49%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

# 施工内訳表

頁0-0021

表層（車道・路肩部）

3.0m超

平均仕上り厚 40 mm

施工 第0 -0006号表

1

m 2 当り

機械構成比： 1.38%

勞務構成比： 10.17%

材料構成比： 88.45%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

[illegible]

# 数 量 総 括 表

工 種	規格・種別	計 算	数 量				単位	備 考
			採用値		計算値			
舗装								
道路土工								
掘削工								
小規模土工 掘削積込	BH掘削・積込	444.5*0.14	62		62.2		m3	
作業残土処理工								
小規模土工 運搬工	作業残土 運搬距離2.7km	62.2*1.2	75		74.6		m3	
処分工								
残土処分費			75		74.6		m3	
舗装工								
舗装準備工								
不陸整正	補足材なし	別紙舗装面積計算書	445		444.5		m2	
舗装工								
上層路盤工	粒度調整碎石M-25 t=10cm	別紙舗装面積計算書	445		444.5		m2	
表層(車道・路肩部)	再生密粒度As13F 1層仕上厚 t=4cm	別紙舗装面積計算書	445		444.5		m2	

鋪 装 面 積 計 算 書

位 置	巾				平 均 巾				距 離	面 積				備考
	表層				表層					表層				
B.P	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m2	m2	m2	m2	
0.00	3.90													
50.00	2.50				3.20				50.00	160.0				
100.00	2.70				2.60				50.00	130.0				
E.P														
151.50	3.30				3.00				51.50	154.5				
合 計									151.50	444.5				

# 特記仕様書

工事名：令和7年度 道路維持 市道穂高 3156 号線 現道舗装工事  
箇所名：安曇野市 穂高 北穂高

本工事の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

## 1 工事内容

- (1) 工事概要は金抜き設計書のとおりとする。
- (2) 本工事は受注者希望による電子納品の対象工事である。実施にあたっては、「電子納品に係る実施要領」によるものとする。
- (3) 本工事は情報共有システムを利用する対象工事である。利用にあたっては、「情報共有システム実施要領」によるものとする。
- (4) 本工事は週休2日工事の対象工事である。「安曇野市週休2日工事実施要領」に従い取り組むものとする。また、工事契約後、週休2日対象期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。  
(参考)「安曇野市週休2日工事実施要領」
- (5) 本工事は「ICT活用工事の実施方針」に基づき、ICT技術の活用が可能な建設工事である。実施にあたっては、各工種の「ICT活用工事実施要領（国土交通省）」によるものとする。  
(参考)「ICT活用工事の実施方針・実施要領」
- (6) 本工事は、「長野県建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」に基づく、建設キャリアアップシステム活用試行工事である。  
(参考)「長野県建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」
- (7) 上記(2)(5)(6)の実施または活用の希望にあたっては、工事請負契約締結後に安曇野市土木工事共通仕様書別紙-2『実施希望調書』を監督員へ提出し、確認を受けること。

## 2 工期関係

工期は、雨天・休日等を見込み、工事開始日（契約日）から令和8年3月27日までとする。

~~（工期は令和 年 月 日までとする。）~~

なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

~~（但し、●●●については、●●●の理由により令和●年●月●日までに完成させること。）~~

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

①準備期間	日間
②後片付け期間	日間
③雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数） 実働日数×係数	0.77
④その他の作業不能日（〇〇のため）（RO.〇.〇～RO.〇.〇）	〇〇日間

著しい悪天候や気象状況より工程が過去5年度分の気象庁及び環境省の最寄りの観測所のデータより年間の平均発生日数を算出した日数から著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議、請求することができる。

## 3 工程関係



本工事に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

#### 4 発生土・廃棄物関係

- (1) 本工の施工において生じる発生土の処分については処分先を指定し、その他産業廃棄物の処分については処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、発生土の処分に関して、受注者の都合により、指定の処分先によることができない場合については、事前に監督員と変更協議をおこなうこと。

- (2) 建設発生土

【 指定 】

搬出先の名称	処分費	運搬距離	処理施設の所在地等
勝野建材(株)	1,900 円/m <sup>3</sup>	2.7 km	安曇野市明科七貴 5484

上記の搬出先について、原則として変更しない。なお、発注時点で想定していないやむを得ない事情等により、搬出先が変更となった場合は、設計変更の対象とする。

- (3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法）

【 参考 】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等				
アスファルト塊		再利用	処理工場名			距離	km
			数 量			㊦ ・ m <sup>3</sup>	
コンクリート塊	無筋 Co	再利用	処理工場名			距離	km
			数 量			t ・ m <sup>3</sup>	
	鉄筋 Co	再利用	処理工場名			距離	km
			数 量			t ・ m <sup>3</sup>	
	二次 製品	再利用	処理工場名			距離	km
			数 量			t ・ m <sup>3</sup>	
建設発生木材			処理工場名			距離	km
			数 量			t ・ m <sup>3</sup>	

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

※排出する対象物が設計寸法と異なる場合は、発注者と協議すること。その際、寸法等を確認できる資料を提出すること。

- (4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）

【 参考 】

種 別	処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等		
木くず (抜根・伐採材)	再利用	処理工場名	距離	km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>	
汚 泥		処理工場名	距離	km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>	
その他（金属クズ 他）		処理工場名	距離	km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>	

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

※積算に用いる木くず処理量の体積 — 重量換算は、実施設計単価表に記載される換算係数を用いる。なお、体積(m<sup>3</sup>)での確認となる場合は、体積を確認できるよう1台毎写真管理すること。

※伐採材については、有価売却を検討すること。

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記(3)、(4)に明示した金額より低額の場合は、設計

変更の対象とする。

## 5 その他

### (1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通学路に係る周知。各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路などの確認。各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
安曇野市 文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期間、迂回路などの説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、要求内容が無理難題と判断される場合には、断ることも必要である。また、要求内容については監督員へ報告すること。特に工事金額に係る内容は協議を交わすこと。)	契約後即対応のこと。また、工期内とする。
工事区間内農地所有者又は管理者及び工事影響範囲の利害関係者など	農地については、工事の進捗及び営農上支障になることの調整。その他利害関係者との調整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所など	駐車場、案内看板などの調整。	上記と同様	上記と同様
N T T	電柱、架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様

あづみ野テレビ	架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
穂高自動車 教習所	教習コースの確認	上記と同様	上記と同様
関係官公庁	本工事事に係ること	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応すること。	上記と同様	苦情については、即対応のこと。要望については、監督員と協議のうえ対応すること。

(2) 個別事項

- ①不陸整正後のプルフローリング試験による目視検査を行い、路盤が不良な箇所については、監督員と協議のうえ、路盤の入れ替えを行うこと。
- ②品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- ③平坦性試験は、実施すること。
- ④創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を完了時までに報告すること。
- ⑤本工事では、現場環境改善に係る経費を当初設計にて計上していない。ただし、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行うものとする。必要に応じて協議を行うこと。
- ⑥本工事により亡失した境界杭については、必ず復元を行うこと。また、境界復旧後は、監督員に精度管理表を提出すること。
  - ア 境界復元作業費用は、共通仮設費率（準備費）に含む。
  - イ 境界杭については、現地の物を再利用し復旧することとし、紛失した場合は請負業者の責任において用意すること。
- ⑦その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議すること。

令和7年7月1日適用版

# 令和7年度 道路維持 市道穂高3156号線 現道舗装工事

